

平成28年度
第4回 鯖江市スポーツ振興計画推進委員会 議事録

日 時 平成28年11月14日(月)
19時00分～
場 所 鯖江市役所4階全員協議会室

1 あいさつ

委員長：今日は最終の会議になると思うので、よろしく御審議いただきたい。

2 協議事項等

(1) 中間年次（H28）における成果指標の達成状況と今後の方向付け

事務局：成果指標-1説明

委員：資料には週3回などと書かれているが、時間が特定されていない。10分でも5時間でも1回とカウントしているのでは？データの取り方として、雑な感じがする。データを取る時にある程度基準を定めてから聞いたほうが良いと思う。過去のデータは仕方ないと思うが、今後は信憑性のあるデータにしたほうが良いと思う。

事務局：今回の特定検診の設問に関しては30分以上の運動をするという表現が入っているので、それは判断材料となるが、策定時の設問は単にこれだけの表現なので、回答者それぞれで解釈していると思われ、統計値として疑問が残る。今回の反省も含めて、次回策定時には条件設定が明確なものに仕様変更するようにしていきたいと思っている。

委員長：事務局の提案どおりでよいか？（異議なし）提案どおり継続でいきたいと思う。

事務局：成果指標-2説明

委員1：数値はこれでよいが、スポーツクラブの現状でいうと、会員の層が変化がみられる。中学生がすごく減ってきている。スポーツクラブと部活動の共存というのがなかなか出来ず、部活動が優先してきており、スポーツクラブに入る意味が無いとする父兄や教員が増えているからである。それでも、ある程度の数字が維持されているのは、もっと低年齢層や高齢者が増えてきているからである。人数は変わらなくても、内容はずいぶん変化してきている。これからも年齢層での増減はあると思うので、どのような事に力を入れて会員を増やしていくのかという方向性をしっかりしないと、今までのようには維持できないと思う。是非行政のバックアップをお願いしたい。

委員2：東スポは、中学校部活動を主体とした鯖スポとは立ち上げ方も異なっており、年齢層も違うと思う。ただ人口減少の煽りを受ける傾向はあり、施設の制約を受けた際に会員も減ることもある。あと、行政のバックアップがあって維持できることもあるので、東スポとしてもご協力をお願いしたい。

委員長 : 事務局の提案どおりでよいか? (異議なし) 提案どおり継続でいきたいと思う。

事務局 : 成果指標-3 説明

委員 1 : 成果指標 1, 2 の所では減ったり、現状維持だったりするが、施設の利用者は増えている。施設利用の増がスポーツ実施率に反映しないのは、疑問は残るが、何か理由があるのか?

事務局 : 市としては、利用しやすいような施設の整備等は日々努力をしているつもりである。気軽に利用してもらえらる取り組みが一定の効果をあげていると思うが、スポーツ人口は固定化しているように思う。

委員 1 : 結局、同じ人が繰り返し利用しているのだと思うが、新規に利用したい人が使えないとか、色々課題もあると思う。それが解決すればスポーツ実施率も上がるのではないのか。この現状を見る限りそのように思う。

委員 2 : 毎回スポーツクラブで議論になるのは、開放学校や生涯学習課管轄の施設の事だが、受益者負担の考え方が統一されておらず、その事によりスポーツクラブの加入率の足かせになっている所がある。成果指標 3 の目標に生涯学習課所管の施設も含めるのであれば、施設利用条件の統一化をしていただきたい。そうすればスポーツクラブの会員数も増え、スポーツ人口も増え、目標も達成できると思う。今の現状では難しいことも以前から知っているが、何とか現状を打破するため、整備をお願いしたい。

委員 3 : 施設利用者数が前回のデータより 5 万人増えていることはわかったが、そこから更に 3 万人増やす事はかなりの努力が必要だと思う。3 万人という数字はどの様なところから出てきたものなのか、3 万人が妥当な数値なのか? あと、スポーツ施設はどれだけあるのか?

事務局 : 施設については鯖江市体育協会が管理する施設と、スポーツ課直営の筋生田スキー場・西番スポーツセンター・弓道場・三六武道館である。それから、これより成果指標に含める施設は生涯学習課所管することぶき体育館、神明健康スポーツセンター、各地区公民館併設の体育館である。それから、3 万人増の目標だが、近年の利用者数の増加傾向をみて、1 年間に 6, 000 人程度の増が目標として妥当ではないかと提案させていただいた。

委員 : 朝など、西山公園やサンドーム周辺にウォーキングをしている人が多いが、そのような方々が、この数値にカウントしているのか?

事務局 : あくまでも、市の所管施設の利用人数なので、民間の施設や一般の健康運動に取り組まれている方の数は把握していないし、把握するのも難しいと考えている。

委員 : それから計画策定時の市民意識調査を書いたことがあるが、質問の意味がわからない点があり、適当に丸を付けることもあったので、その質問の内容を議論したほうが良いのではないかと? 質問の内容によっては、ジムに通う人以外にも、ウォーキングの人数もそれなりに把握できるのではないかと。東スポのウォーキングに参加したこともあるが、幅広く周知すれば普段ウォーキングをしている人がもっと参加すると思う。

事務局 : この調査の数値は延べ人数を累積しているものであり、次回策定時には民間の施設の数値も含めることで、より実数に近いものになると思う。

委員 : 先ほど他の委員が述べたように、同じ人の回数が増えているのだと思う。通常施設を

利用している人が週1回利用を増やすことで、数値は増える。西番スポーツセンターでは、コートが空いていても、既に一定枠を予約しているスポーツクラブでは取れないという状況があり、施設側は一般利用者用に空けておくのだという。しかし、実際にはその一般客は来るか来ないかわからない。利用者数を伸ばしたいなら、確実に利用する利用者を優先すればよいが、個々にテニスを楽しみたいと不定期に訪れる人たちに活動場所を提供したいという考えもよくわかる。この計画の推進にあたり市はその辺をどのように考えているのか。それから施設によって違う気もするが、使う時間帯と使わない時間帯がはっきりしており、開いているときは誰も使っていない。なので、例えば利用できる時間帯を延ばすなど工夫はできないものか。都会に行くと夜11時ごろまで営業している。3万人増といっても、そんな簡単なものではないと思うので、もっと施設を利用しやすくするとか、利用できる時間を延ばすなど、工夫していただきたい。

事務局 : まさにそのとおりで、公共施設が抱えているジレンマそのものだと思っている。ただ、それについて具体的な方策を打ち出せるかは何ともいえない。その事も含めて、今後施設ごとにご議論いただければと思う。

委員 : ユーカルさばえについて、土曜日の午後・日曜日・祝日は閉館になっていると思う。平日は定期利用団体で埋まっており、入り込む余地が無い。今後、市の教育委員会として、土日祝日も利用できるような方向性は考えていただけないのか。

事務局 : ユーカルさばえは、平日はス少等定期利用団体が押さえており、土曜日は青年の団体が行事で利用しているのみである。競技団体の方々にどのように利用していただけるのかは今後研究していきたいと思う。

委員 : このスポーツ施設の中で、有定橋の下にあるマレットゴルフ場はカウントされているのか？

事務局 : それは入っていない。

委員 : 施設を使わなくて出来るスポーツといえば、マレットゴルフ・自転車等あるが、そういったものを利用者数に含めることも一つの案だと思うのだが、マレットゴルフの大会等があったらすごい人数が集まってきているので、それを含めてはどうか。

委員長 : 事務局で検討願いたい。

委員長 : 事務局の提案どおりでよいか？(異議なし) 提案どおり変更・追加でいきたいと思う。

(2) 中間評価の総括

課長 : 中間評価報告書 説明

(質問・意見なし)

委員長 : 先ほども前向きな良い意見が出され、それらを報告書に反映させて、最終的な中間報告書を完成させていきたいと思う。出来上がり次第、委員の皆様にお送りさせていただくので、よろしく願いたい。

3 その他

事務局 : この報告書については今日の委員会の内容も踏まえながら調整をさせていただき、委員長・副委員長の時間から教育長に後日提出する形で考えている。

それから、今年度の推進委員会についてはこれで一区切りと考えている。今年度は国の基本計画の見直しの年であり、12月の下旬には中間報告、パブリックコメントも行われ、3月上旬には答申、3月末には大臣決定というスケジュールとなっている。その内容によっては、市の計画にも反映するなどの仕事があり、推進委員会の役割と考えている。

それと、29年度以降も各事業主体の取り組みは引き続きご意見を伺うことが推進委員会の役割であり、皆様の希望をお聞きしながら3本の柱による分科会に分かれていただきご協議いただくことになると思う。引き続きよろしくお願ひしたい。